

京都府公立大学法人の平成27年度  
業務実績に関する評価結果

平成28年9月

京都府公立大学法人評価委員会

# 目 次

第1	評価の基本方針	1
1	評価の趣旨	1
2	評価の方法	1
第2	全体評価	2
第3	項目別評価	4
1	教育研究等の質の向上に関する事項	4
(1)	教育等に関する目標	4
(2)	研究に関する目標	5
(3)	地域貢献に関する目標	5
(4)	医科大学附属病院及び北部医療センターに関する目標	6
2	業務運営の改善等に関する事項	6
3	財務内容の改善に関する事項	7
4	教育研究及び組織運営の状況の自己点検・評価 並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項	7
5	その他運営に関する重要事項	8

# 第1 評価の基本方針

## 1 評価の趣旨

京都府公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条第1項の規定により、京都府公立大学法人（以下「法人」という。）の平成27年度の業務の実績について、次の方針に基づき評価を行った。

## 2 評価の方針

- ア 大学の教育研究の特性に配慮しつつ、法人の継続的な質向上に資する。
- イ 中期計画に定めた項目ごとの各年度における具体的な実施状況について調査・分析し、業務の全体について評価を行うことにより、業務運営の改善・充実に資する。
- ウ 評価を通じて、法人の業務運営状況を明らかにし、府民に分かりやすく示す。

## 3 評価の方法

- ア 評価は、法人による自己評価を聴取した上で行った。
- イ 評価は、全体評価及び項目別評価により行った。
  - (ア) 全体評価  
全体評価は、項目別評価の結果を踏まえ、法人の業務の実績全体について評価を行った。
  - (イ) 項目別評価  
項目別評価は、年度計画の小項目及び大項目ごとに行った。

年度計画の小項目ごとの評価は、次のⅣ～Ⅰの4段階により行った。

- |   |                  |
|---|------------------|
| Ⅳ | 年度計画を上回って実施している  |
| Ⅲ | 年度計画を十分に実施している   |
| Ⅱ | 年度計画を十分には実施していない |
| Ⅰ | 年度計画を実施していない     |

年度計画の大項目ごとの評価は、次のS～Dの5段階により行った。

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| S | 特筆すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合） |
| A | 順調に進んでいる（すべてⅣ又はⅢ）           |
| B | 概ね順調に進んでいる（Ⅳ又はⅢの割合が9割以上）    |
| C | やや遅れている（Ⅳ又はⅢの割合が9割未満）       |
| D | 重大な改善事項がある（評価委員会が特に認める場合）   |

## 第2 全体評価

法人は、京都府立医科大学（以下「医科大学」という。）及び京都府立大学（以下「府立大学」という。）を設置及び管理し、京都府民に開かれた大学として透明性の高い運営を行うとともに、京都府の「知の拠点」として、質の高い教育研究の実施を通して、幅広い教養、高い専門能力及び倫理観を持った人材を育成し、また、世界トップレベルの医療の提供や教育研究の成果を府民や地域に還元することにより、府民生活の向上、地域社会や国内外の発展に貢献することを目的としている。

法人はこの目的の具現化を図るため、平成20年度の法人化以降、6年間ごとに中期計画を作成し、総合的で専門性の高い教育研究の実施と優れた人材の育成をはじめ、産学公連携などによる地域貢献、高度で安全・安心な医療の提供や、効果的・効率的な業務運営等に取り組んできたところである。

平成26年度から平成31年度までの6年間は第二期中期目標期間となることから、法人では目標の達成に向けた第二期中期計画を作成するとともに、毎年度、年度計画を作成し取り組んでいるところであるが、今回は、その2年目の年度に当たる平成27年度計画の業務実績評価を行った。

具体的な取組内容では、医科大学附属病院及び北部医療センターにおいて、連携病院や診療所などとの関係を強化し、患者紹介率等が計画の数値目標を大きく上回って達成していることや、府立大学において地域課題のニーズをより汲み取った調査研究の推進や市町村職員の人材育成のため平成28年度から新たに市町村研修生を受け入れることとするなど、着実に進捗している項目が数多く見られる。

これらの取組を踏まえて、平成27年度の法人の業務実績について総合的に評価すると、年度計画全167項目中163項目が「年度計画を上回って実施している」（評価Ⅳ）又は「年度計画を十分に実施している」（評価Ⅲ）となり、その割合は全体の97.6%となっているため、中期計画の達成に向けて、法人全体として「概ね順調にすすんでいる」と評価する。

しかしながら一方で、医科大学において学生の府内就職率の目標が達成できていないことや、同附属病院及び北部医療センターにおいて患者満足度が目標の数値に至っていないことなど、年度計画の達成状況としては不十分であると認められるものもみられるとともに、府立大学において学生の飲酒死亡事故や大学院試験問題の出題範囲漏洩事案が発生しており、再発防止に向けてより一層の取組が求められる。

法人においては、今年度が第二期中期計画の3年目の年度となるため、今回明らかとなった課題を十分点検するとともに、必要な改善を施すことにより、中期計画の達成に向けて、理事長のリーダーシップと責任のもと、副理事長である両大学の学長とともに一法人二大学の特徴を発揮され、教職員が一丸となって、より一層積極的に取り組まれることを求める。

## 【27年度計画「大項目」評価結果】

大項目 \ 評価	S	A	B	C	D
	特筆すべき進捗状況(達成状況)にある	順調に進んでいる(良好な達成状況にある)	概ね順調に進んでいる(概ね良好な達成状況にある)	やや遅れている(不十分な達成状況にある)	重大な改善事項がある
教育研究等の質の向上に関する事項			○ (○)		
業務運営の改善等に関する事項		○ (○)			
財務内容の改善に関する事項		○ (○)			
教育研究及び組織運営の状況の自己点検・評価並びに当該情報に係る情報の提供に関する事項		○		(○)	
その他運営に関する重要事項			○ (○)		

注) ( ) 書は 26 年度の評価結果

### 第3 項目別評価

#### 1 教育研究等の質の向上に関する事項

- 「第2 教育研究等の質の向上に関する事項」については、教育研究の特性に配慮し、事業の外形的・客観的な進捗状況についての評価を行った。本項目に係る平成27年度計画については、項目数が多く、内容も幅広いため、細分化し、評価結果を取りまとめた。

#### ◆「教育研究等の質の向上に関する事項」の全体評価

- 平成27年度計画については、「小項目評価」において、121項目中3項目が「Ⅳ」（年度計画を上回って実施している）、115項目が「Ⅲ」（年度計画を十分に実施している）の評価結果となり、その割合が9割以上（97.5%）となっているため、「大項目評価」としては、「B」評価であり、平成27年度計画が概ね順調に進んでいると認められる。

大項目評価		B		概ね順調に進んでいる。		
小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	3	115	3	0	121
	構成比(%)	(2.5)	(95.0)	(2.5)	(0.0)	(100.0)

#### (1) 教育等に関する目標

小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	0	59	1	0	60
	構成比(%)	(0.0)	(98.3)	(1.7)	(0.0)	(100.0)

#### (評価できる項目)

- 教養教育共同化の取組において、3回生以上を対象とした専門性の高い教養科目として、「時間生物学特論」と「英語で京都」の2科目を新たに開講することにより、教養教育共同化の取組を更に充実させている。
- 府立大学の和食文化の学科(学部)開設に向けて、「和食文化学科(仮称)」設置構想骨子案を作成するとともに、高等教育機関設置に向けたキックオフセミナーの開催や食品関連企業との包括連携協定締結など取組を進めている。

#### (課題となる項目)

- 府立大学において学生の飲酒死亡事故が起こっており、再発防止に向けて、学生への飲酒に関する教育・指導に取り組む必要がある。

## (2) 研究に関する目標

小項目評価	評 価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	1	26	0	0	27
	構成比(%)	(3.7)	(96.3)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

### (評価できる項目)

- 平成27年度に文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の採択を受け、新たに府立大学で「地域創生人材資格プログラム」を策定し平成28年度から実施するとともに、「地域創生COC+人材バンク」を立ち上げるなど、新たな取組を具体化している。
- 医科大学において、「研究開発・質管理向上統合センター」に治験の専門家を教授として学外から採用するとともに、事務長を配置してセンターの体制を強化し、研究の支援や管理を充実させている。

## (3) 地域貢献に関する目標

小項目評価	評 価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	1	18	0	0	19
	構成比(%)	(5.3)	(94.7)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

### (評価できる項目)

- 府立大学において、ACTR事業として、舞鶴市とはゴミ問題解決のためのコミュニティ施策について、久御山町とは地域資源を生かした観光振興や生涯学習の活性化について、大山崎町とは観光活性化について、調査研究を実施している。
- 府立大学において、地域課題のニーズをよりくみ取った調査研究の推進や市町村職員の人材育成のため、平成28年度から新たに市町村職員（精華町）を研修生として受け入れることとしている。
- 医科大学において、医師不足が深刻な府北部地域の人材確保のために、府内医療機関への医師派遣を積極的に実施している。

#### (4) 医科大学附属病院及び附属北部医療センターに関する目標

小項目評価	評価	IV	III	II	I	計
	項目数	1	12	2	0	15
	構成比(%)	(6.7)	(80.0)	(13.3)	(0.0)	(100.0)

##### (評価できる項目)

- 患者紹介率及び逆紹介率が、附属病院ではそれぞれ 73.6% (計画:55%以上)、60.6% (計画:45.0%以上)、北部医療センターではそれぞれ 54.0% (計画:52%以上)、118.6% (計画:100%以上) となり、計画の数値目標を大きく上回って達成している。
- 病床利用率が、病床運用の方式の変更等により、附属病院が 83.2% (計画:82.5%)、北部医療センターが 86.4% (計画:80.0%) となり、計画の数値目標を上回って達成している。

##### (課題となる項目)

- 医科大学の学生の府内就職率は、医学科が 57.7% (計画:66%以上) となっており、計画の数値目標を達成できていない。
- 入院及び外来の患者満足度が、附属病院ではそれぞれ 86.6% (計画:90%以上)、79.6% (計画:80%以上)、北部医療センターではそれぞれ 84.2% (計画:90%以上)、73.3% (計画:80%以上) となっており、計画の数値目標を達成できていない。

## 2 業務運営の改善等に関する事項

- 平成27年度計画については、「小項目評価」において、12項目中12項目全てが「III」(年度計画を十分に実施している)の評価結果となり、「大項目評価」としては、「A」評価であり、平成27年度計画が順調に進んでいると認められる。

大項目評価		A	順調に進んでいる。			
小項目評価	評価	IV	III	II	I	計
	項目数	0	12	0	0	12
	構成比(%)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

##### (評価できる項目)

- 理事長・学長との懇話会を開催し、決算及び法人評価を踏まえた今後の対応等について、集中的に意見交換を行うとともに、法人本部・事務局長会議を適宜開催し、法人及び大学に係る懸案事項について意見交換を行っている。



### 3 財務内容の改善に関する事項

- 平成27年度計画については、「小項目評価」において、6項目中6項目全てが「Ⅲ」（年度計画を十分に実施している）の評価結果となり、「大項目評価」としては、「A」評価であり、平成27年度計画が順調に進んでいると認められる。

大項目評価		A	順調に進んでいる。			
小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	0	6	0	0	6
	構成比(%)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

#### (評価できる項目)

- 研究の科学研究費等の外部資金を獲得するため、両大学では、外部資金申請を全教員が1件以上行い、数値目標（数値目標：各教員1件以上）を達成している。

### 4 教育研究及び組織運営の状況の自己点検・評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項

- 平成27年度計画については、「小項目評価」において、3項目中3項目すべてが「Ⅲ」（年度計画を十分に実施している）の評価結果となり、「大項目評価」としては「A」評価であり、平成27年度計画が順調に進んでいると認められる。

大項目評価		A	順調に進んでいる。			
小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
	項目数	0	3	0	0	3
	構成比(%)	(0.0)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)

#### (評価できる項目)

- 医科大学では、附属病院及び北部医療センターにおいて、自己評価及びケアプロセス調査の実施、各部署の業務改善など、改善の取組を進めている。

## 5 その他運営に関する重要事項

- 平成27年度計画については、「小項目評価」において、25項目中24項目が「Ⅲ」（年度計画を十分に実施している）の評価結果となり、その割合が9割以上（96.0%）となっているため、「大項目評価」としては、「B」評価であり、平成27年度計画が順調に進んでいると認められる。

大項目評価		B		概ね順調に進んでいる。		
小項目評価	評価	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	I	計
	項目数	0	24	1	0	25
	構成比(%)	(0.0)	(96.0)	(4.0)	(0.0)	(100.0)

### （評価できる項目）

- 医科大学では、広報センターを立ち上げ、学内の研究成果の情報集約によるプレスリリースの増強など積極的な情報発信に努めている。
- 府立大学では、ホームページのデザインを変更し、入試情報や学部学科の紹介など閲覧者が求める情報を容易に入手できるようにするとともに、トップページの写真を増やしたり、背景色を大学のイメージカラーにすることで、大学のイメージを視覚的に伝えるようにしている。

### （課題となる項目）

- 府立大学において、教員による大学院試験問題の出題範囲漏洩事案が発生しており、更なる再発防止に向けて取り組む必要がある。